

研究協力のお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

当院における膵体尾部切除術の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年3月24日から2033年3月31日までに昭和大学江東豊洲病院において膵体尾部切除手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

膵癌は一般に早期診断が難しく、予後不良な疾患といわれています。化学療法の発展した今日でも手術が唯一の根治療法とされており、さらには膵臓の尾側よりの腫瘍性病変は、現時点では良性でも将来的に悪性になるものがあり、手術前診断が難しいため手術による診断的治療が必要となる場合があります。

一方で、膵臓手術は膵液が漏れることによる感染・出血などをふくめ、命の危険が生じる合併症が、未だ低くない確率で起こります。

医学の進歩により手術の低侵襲化は進んでおり、手術の方法や手術後の入院中の管理への工夫も寄与して、手術の安全性が高まってきていますが、その効果を検討・評価すべく、今回の研究を計画いたしました。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2033年6月30日まで。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、入院日、手術日、退院日、既往歴、入院期間） 術中所見（手術時間・出血量・膵切離時間・膵切離方法・合併切除の有無） 膵液瘻・胆汁瘻・感染などの合併症の有無と程度、術後ドレーン量、術後ドレナージの有無・経緯、臨床検査項目（血液、生化学、CT画像、病理組織、細菌培養） 長期的経過（再発の有無・術後化学療法）

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 昭和大学江東豊洲病院

石田 幸子

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院 氏名：石田 幸子

住所：135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38 電話番号：03-6204-6000